

---

平成30年度

議会報告会報告書

一般会場

平成31年3月  
庄原市議会

---

## 平成30年度 庄原市議会報告会報告書 目次

1. 開催の目的	1
2. 開催地区、開催日時及び参加者数	1
3. 議会報告会（報告事項）次第	2
4. 班編成	2
5. 報告事項に対する質疑応答	3
(1) 平成30年度予算について	3
(2) 平和行政について	4
(3) 保育事業について	5
(4) 地域包括ケアシステムについて	6
(5) JR・バス利用による公共交通網の現状と課題	8
(6) 農業振興施策について	9
(7) 林業振興施策について	10
(8) 観光振興施策について	12
(9) 水道事業のあり方について	13
6. 意見交換	15 ~ 26
7. 議会へ対する質疑・意見・要望	27
8. 執行者へ対する質疑・意見・要望	28 ~ 29
9. 議会報告会の検証結果	30 ~ 32

## 1. 開催の目的

市民が議会の活動に参加できるような懇談会、議会報告会等を開催するよう努めるため。  
( 庄原市議会基本条例第5条第3項 )

## 2. 開催地区、開催日時及び参加者数

地域	地区	開催日	開催時間	会場	参加者数	担当班
庄原	庄原	10月 1日(月)	19:00~21:00	庄原市民会館 集会室	27	1
	高	7月 4日(水)	19:00~21:00	高自治振興センター	19	2
	本村	7月 4日(水)	19:00~21:00	本村自治振興センター	17	3
	峰田	7月 4日(水)	19:00~21:00	峰田自治振興センター	14	4
	敷信	10月16日(火)	19:00~21:00	敷信地区民ふれあい広場	6	5
	東	10月 3日(水)	19:00~21:00	東自治振興センター	21	1
	山内	中止				
	北	10月31日(水)	19:00~21:00	北自治振興センター	7	3
西城	西城	7月 3日(火)	19:00~21:00	西城自治振興センター	17	4
	八銚	中止				
東城	小奴可	中止				
	八幡	7月 3日(火)	19:00~21:00	八幡自治振興センター	16	3
	田森	7月10日(火)	19:00~21:00	田森自治振興センター	17	4
	東城	10月 9日(火)	19:00~21:00	東城自治振興センター	4	1
	帝釈	10月10日(水)	19:00~21:00	帝釈自治振興センター	25	5
	新坂	中止				
	久代	7月 4日(水)	19:00~21:00	久代自治振興センター	20	1
口和	口和	10月29日(月)	19:00~21:00	口和自治振興センター	9	3
高野	高野	中止				
比和	比和	10月11日(木)	19:00~21:00	比和自治振興センター	7	5
総領	総領	7月 3日(火)	18:30~20:30	総領自治振興センター	29	1
一般会場 計					<b>255</b>	

※特設会場(市内4高校)は別に報告書を作成する。

年度	期間	開催時間(要綱)	会場数	参加者数	班数
平成23年度	7月 1日~21日	19:00~21:00	22	488	8
平成24年度	7月 3日~20日	19:00~21:00	21	369	8
平成25年度	7月 3日~18日	19:00~21:00	21	328	5
平成26年度	7月 3日~18日	19:00~21:00	21	430	5
平成27年度	7月 3日~24日	19:00~21:00	22	445	7(内特設2)
平成28年度	7月11日~21日	19:00~21:00	24	一般 375 特設 415 合計 790	8(内特設3)
平成29年度	7月3日~8月29日	19:00~21:00	24	一般 427 特設 426 合計 853	8(内特設3)

### 3. 議会報告会（報告事項）次第

<p>【一般会場】</p> <p>1 開会</p> <p>2 議会報告・質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の仕組みと役割</li> <li>・予算決算常任委員会 平成30年度予算について</li> <li>・総務常任委員会 平和行政について</li> <li>・教育民生常任委員会 保育事業の管理運営について など</li> <li>・企画建設常任委員会 農業振興について など</li> </ul> <p>3 意見交換</p> <p>4 閉会</p> <p>※時間配分 1～2 1時間 3～4 1時間</p>
---

### 4. 班編成

（一般会場）

（◎印 班長）

班	総務常任委員	教育民生常任委員	企画建設常任委員
1	◎坂本 義明・宇江田 豊彦	桂藤 和夫	林 高正
2	五島 誠	◎近藤 久子・山田 聖三	門脇 俊照
3	◎竹内 光義	吉方 明美	政野 太 ・岩山 泰憲
4	◎岡村 信吉	徳永 泰臣	横路 政之 ・田部 道男
5	◎赤木 忠徳	福山 権二	谷口 隆明

## 5. 報告事項に対する質疑応答

(1)平成30年度予算について	
【 庄原地域 庄原地区 】	
<p>公共施設のあり方検討委員会のことが触れられていない。市民会館を含めて非常に大きな問題である。自治振興区としては市民会館、自治振興センターについての要望等を市長、議長に提出しているが、議員へは伝わっているのか。 議会での議論はされていないのか。</p>	<p>総論になるが、財政運営が厳しいことはご存知だと思う。決算ベースで年間 48 億円減っている。予算の削減、債権の確保、税の収納率を上げるとか努力しなければいけない。公共施設の総面積を今後どうしていくのかという大きな流れがある。公共施設の中で一番面積が多いのが 30%を占める小・中学校である。そこを解決していかなければならないということで学校の適正配置の計画がなされている。</p> <p>これは公共施設の面積をいかにするかという形で提案され、これからの教育をどうするかということで教育委員会議の中で方針が示されている。全体で言うと、公共施設の今後について出来るだけ小さくしていくという方向があるということである。</p> <p>自治振興センターについて言えば、老朽化しているし、自由に使える施設としては、大きな課題を持っていることは承知しているし、様々な要望もお聞きしている。</p> <p>庄原自治振興センター建築・改修にかかる協議経過ということで話し合いもさせていただいているが、話が二転三転して皆さんに不信感が募っているのは事実だろうと思う。改修するのか、移転するのか、全く話がない状況であるが、11 月を目途に結論が出てくることになっているので、もう少し待ってほしい。</p>
<p>自治振興センターには、テーブルも会議をする場所もない。これらについての方針が出たらよく検討の上、善処してもらいたい。 7 月豪雨等で 5 回避難所として開設された。1 度は 300 人以上避難され、ホールも使用しました。生活基盤のベースとなる場所なので、その点も考えていただいて避難所としても、もう少し使えるようになればいいと考えているのでよく検討してほしいと願っている。</p>	<p>持ち帰って執行者に繋ぎ、議会としても検討したいと思う。</p>

合併特例債が5年延長になったが、これは有効に使えるものなのか。	平成36年まで5年間延長になったが、基本的には新市の合併計画の中で予定をした事業に使っていくということで期間が長くなっていると理解していただきたい。その中で災害が起こって緊急対応しなければならない事項、東日本大震災・今回の豪雨・台風・北海道の地震が全国的に発生しているが、基本的にはそういうことである。
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
「新年度予算が市民の理解が得られる整合性のある予算立てになっていない」などを指摘したとは、何を指摘したのか。	パンダは1月4日に初めて聞いた。 小児科診療所のこと。
<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>	
人口減少が進む庄原市で、予算の歳入はどのような見通しか。  ふるさと納税も、他のまちのような多額な寄付は無理ではないか。	歳入の柱である地方交付税は、市の合併時に比べ、大きく落ち込んでおり、ふるさと納税は、今年度2,600万円の予算となっている。 持続可能な財政運営プランに基づく健全な財政運営での市政が進められるよう審査している。
<b>【 西城地域 西城地区 】</b>	
庄原市予算のうち西城町への予算は、どれくらい付いているのか。	西城町への予算付けの額はわからない。 ハード予算では、今年度、保育所建設の調査設計をし、来年度で建設を行うようになっている。
<b>【 口和地域 】</b>	
休日診療所センターの予算として1,247万円の内訳は何か。	
<b>【 比和地域 】</b>	
施設管理しているものは何件あるのか。比和町は何件あるのか。	把握していない。後日、自治振興区へ回答する。 (回答済)

<b>(2) 平和行政について</b>	
<b>【 庄原地域 庄原地区 】</b>	
平和行政の予算執行状況はどのようになっているのか。	委員会の予算は調査を進める先進地視察に議員一人10万円(6名で60万円)で、平和行政については本日予算書を持参していないので、はっきりした金額はわからないが、200万円余りではないかと思う。 (回答済)

<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>	
小学生の時から、生き方について学び、体験することが大切。戦争体験を語る人の記録を残し、学校教育に生かすべき。	広島への原爆投下後に陸軍病院分院が設置されるなど、庄原での戦時記録等の伝承は大切なこと。平和行政実現に向け、平和に関する条例制定も考えたい。
<b>【 東城地域 田森地区 】</b>	
沖縄を訪ねての委員会報告があるが、平和行政を本気で進めることが大切。	戦後70年以上の経過で、記憶も風化の傾向がある。平和事業推進条例制定に繋げる取り組みを進めたい。

<b>(3)保育事業について</b>	
<b>【 庄原地域 庄原地区 】</b>	
庄原市保育所・認定こども園一覧の中に幼稚園が入っていないのはどうしてか。	幼稚園は独立学校法人なので所管が県になっており、ほとんどタッチできないが、助成等については保育所と同等なものを支援している。 高校にも支援・意見交換をしている。
保育所、幼稚園は、地域で暮らしている人は一緒だと思っているので、ないがしろにせず、広く意見を聞いてやってほしい。	当然、ないがしろにすることはなく、意見交換等をしていっている。
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
保、小、中、高の連携は必要。今回調査したのは、なぜ保育所と小学校だけなのか。	今回保育所を特に調査した理由は、指定管理者制度の実態を見ると、保育指針に沿っていないと考えられるところもあり、会社によっても方針が違うため、実態調査に向かった。
保育所における保育士の呼び方については聞いている。保育所によって差があるということであれば、基準があるならば是正をさせるべきではないか。	保育所と小学校の連携について基準はない。(是正することについて)そういった考えもあると思う。常任委員会の中でも挙がっている。
<b>【 東城地域 八幡地区 】</b>	
ぽんぽこ山保育園周辺の環境が悪い。(廃屋があり倒壊寸前) 私立ではあるが安全対策を講じてほしい。要望書を出す準備をしている。	
私立、公立とも合同で保育についての研修をする必要があるのではないか。	

保育士が不足している。教育にしっかり予算をつけるべき。	
<b>【 東城地域 帝釈地区 】</b>	
市は、保育事業をはじめ、指定管理者制度活用を採用しているが、指定管理料の算定について、公平性を含め、適正に実施しているのか、疑問点もある。	保育事業をはじめ、市の指定管理料算定については、議会で重ねて審議し、市長に適正予算の配分を求めてきた。その中で、指定管理料の諸経費算定率等についても、対人件費割合として最大 30%のものから 15%など、その割合算定の的確な基準が確立されていない部分もあり、一定の改善が実施され、今日も市の担当課(管財課)で対応が検討されている。
指定管理者制度の活用の目的は、市財政関係経費削減にあると判断されるが、指定管理者制度に関する管理料額算定は適正に実施されているのか。	指定管理料については、精算項目指定と精算の無い部分もあり、この部分の金額が相当であると、所管委員会での議論もある。市財政の現状を鑑み、議会としても注視し、改善を推進していきたい
<b>【 口和地域 】</b>	
保育所で「社会性を身につける保育を」と言っているが、まず大人が見本を見せなくてはいけない。市役所の職員でも挨拶をしない職員が多くいる。口和では、挨拶運動をしている。こどもは家庭・学校・地域によって対応を変える。	
<b>【 総領地区 】</b>	
保育所と小学校の連携について、どういう課題を把握されているのか。	市内の小学校と保育所の現場を視察して、東城地域では保育所から高校卒業までの長い期間にわたり個々の児童生徒の成長を見守る体制が出来ていたり、ある保育所では小学校との連携を地域ぐるみで実践されているところもあった。 また小学校との連携密度を今後深めようとされている保育所もあったが、子供は宝物だという認識で連携を深めてほしいと考えている。

<b>(4)地域包括ケアシステムの構築について</b>	
<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>	
自治振興区で取り組んでいる、デイホーム活動の基本助成が、3月に急に引き下げとなり運営に苦慮している。今後の見通しはどうか。 議会広報を見ても論議された形跡がない。	予算編成時、急な方針変更であった。6月の一般質問での議論は、今年一年施行して検討するとの答弁である。制度が円滑に運営できるよう議論を深める。

【 庄原地域 北地区 】	
地域包括ケアと言っているが、間違った方向に行っていると思える。	
【 東城地域 八幡地区 】	
介護予防のためにサロンなどへ出かけることを進めているが、そこへ行くまでの移動手段がない。外出するためのシステムを作してほしい。	
介護予防としてシルバーリハビリ体操に取り組んでいるが、これの指導者(60歳以上)を募集している。地域でやるのだからボランティアというのは、おかしい。有償ボランティアにしたらどうか。	
デイホームの予算が大幅カットとなった(30~40%)。介護予防に重点を置いていないと思わざるを得ない。今年の3月になってそれを知った。この事業を8年やってきたが、予算がないとやっていけない。何でもかんでも地元でということにはならない。	
【 東城地域 田森地区 】	
<p>地区で取り組んでいるデイホーム事業の助成が引き下げとなったのは、どういう訳か。</p> <p>庄原市の強い要請により、地域も犠牲を払いながら取り組んでいる。</p> <p>庄原市政は何を大切にして、どのように市民を守っていくのかわからない。</p> <p>補助金を元に戻してほしい。</p>	<p>他の地域の報告会でも意見として出ている。</p> <p>議員もこの問題を6月の一般質問で議論もした。財政運営プランに基づく助成見直しによるものだが、こうして実際に事業に取り組むのに困窮されている。庄原市の介護保険負担なども高い状況である。</p> <p>ことについて、委員会でも円滑に運営できるよう議論を深める。</p>
市民タクシーの運行について、2人以上で乗車することが難しくなっている。制度の改善やスクールバスへの乗り合わせも出来ないものか。	生活交通のあり方について、委員会で調査を進めたい。
地域でタクシーを呼べない状況もあるし、高齢者には買い物か底を突く状況でも、市民タクシー料金500円が高く、切り詰めも利用できていないケースもある。容易に利用できるようにしてほしい。	
高齢ドライバーの事故(バック時)や、免許証返納のこともあり、地域で車を確保して、安全な交通体系を整備してほしい。	

<b>【 東城地域 帝釈地区 】</b>	
<p>地域包括システムについて、今日の説明では、旧庄原市地域以外の支所設置地域ではシステムとして前進し、評価されるとのことであったが、東城地域も含めて、そのように充実してはいないのではないか。</p> <p>システム構築としては、行政指導、地域相互支援、医療介護専門機関の連携があるが、医療機関対策、介護機関のシステム参加については、いまだに確立されていないのではないか。議会の認識不足がある。</p>	<p>現時点で市内のとりわけ旧町地域でのシステム構築が完成しているという判断ではなく、このシステムに欠かせない地域相互支援と行政対応は、一定程度の確立はあるという認識である。</p> <p>支所機能が発揮され、その努力と地域自治振興区等の果敢で意識的な対応が現実には展開されており、そのことについては高く評価する、という意味での現状認識である。</p> <p>地域相互の支援体制の前進は、県内他地域よりも先行しているという県行政判断もある。このことを土台にし、さらに拡充して本来のシステム完成に議会も連動していきたい。</p>
<p>教育民生常任委員会の報告のなかに、自分の家で静かに、家族に看取られて、人生の最終期を迎えることができるように対策する、というような表現がある。「在宅看取りと24時間サービス ひとり暮らしで認知症になっても、安心して暮らすことが出来、穏やかな最期を自宅で迎える」というようなことはありえない。</p> <p>現実をもっと直視して、地域包括ケアシステムは構築すべきである。</p> <p>これは要望である。</p>	
<b>【 口和地域 】</b>	
<p>地域包括支援センターは機能しているのか。</p>	

<b>(5)JR・バス利用による公共交通網の現状と課題について</b>	
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
<p>駅前開発のメリットは何か。長期総合計画に入っているものなので仕方がないと言っているが、不要なものは、たとえ計画に入っても見直す必要があるのではないか。</p>	<p>常に意見として出ているが、執行者から具体的な回答はされていない。</p>
<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>	
<p>庄原市の「生活交通・市民タクシー」の運行を、峰田地区では、24 集落のうち 17 地区を対象に実施している。高い効果を上げているので他地区でも取り組みを進められたら良いと思う。</p>	<p>取り組みを参考にし、他地区でのそれぞれに対応を行ってもらうよう周知する。</p>

<b>【 東城地域 八幡地区 】</b>	
JR落合駅は岡山と広島の間。つながりが悪くなると、ますます衰退する。	
東城～落合間は利用者数が少ないようだが、そこがなくなると広島市へ行くことが出来ない。	
JRを観光とマッチングさせての利用を考えたかどうか。	
JR存続をさせるために、早く協議会を立ち上げて廃止しない取り組みをしてほしい。 市の姿勢をはっきりさせてほしい。	
自分は今後8年も経つと運転できなくなると思う。そこからのことが心配。	
<b>【 東城地域 帝釈地区 】</b>	
代替バス運行の土曜日1便減等の最新情報は、もっと事前に徹底周知を求めたい。	調査して対応したい。地域からも学校クラブ活動参加への影響もあるとの声も聞いており、対応したい。
免許返納の促進と返納者の交通対策が庄原市には無いのではないかと。	庄原市は明確な制度をつくっていない。先進他市の例を参考にしつつ制度化を目指す取り組みを検討したい。大阪地域は特に先進地であり参考にしたい。
<b>【 口和地域 】</b>	
免許返納後の移動を、どう考えているのか。 JRの利用を促進すると言っているが、誰を対象に促進するのか。	

<b>(6) 農業振興施策について</b>	
<b>【 庄原地域 北地区 】</b>	
認定農業者となるためのハードルが高すぎる。	

(7) 林業振興施策について	
【 庄原地域 本村地区 】	
山林所有者の明確化と、相続や税のことについて聞きたい。	行政側は相続の代表者を納税義務者として課税しているの、相続がうまくいかず課税しないということはない。
【 東城地域 東城地区 】	
いろいろ広範にわたって報告されたが、山林所有者の明確化ということについて、相続等である人が譲渡されたが、両隣の所有者が誰なのかということで市の支所に行って聞いたところ、「それは言われぬ。三次(法務局)に行ってください。」と言われた。何年か前に道路にかかる枝を伐採した時に図面をもって皆に聞いて教えてもらって作業したことがある。いつ頃から三次の法務局に行かないといけなくなったのか。明確化というのがどういことを指しているのか。	今言われた「三次(法務局)に行ってください」と言われたことは、よく理解できないが、市の税務課に行けばダンゴ図(地図に準ずる図面)を持っていて、それを見せてもらえると認識している。
以前、図面を出して〇〇番地と言えば誰々さんだと確認して、道路上の枝切りをした時に地権者の承諾を得るために調べて作業したことが頭にあり、昨年、支所に行って、説明し両隣は誰かと相談したが、図面と地番があっても教えてもらえなかった。	おそらく、それは登記もされてなくて、何代も前、3代・4代遡った人の名前で実態はそこへ住んだ人は誰もいないと思う。登記簿と住民票が連結していないため追っかけていこうにも追っかけようがない。だから、住民票も150年間保管しようという話も出てきたりしている。 今追いかけているのは血族というか全部ハンコをもらって登記をつけないといけぬということがあるものを、極論ですが、1代前まで遡って、それでO.Kにしようという話が出ている。 それと「私はもうそのものは要りません」という相続放棄するという人が出たら、それを受ける所(収容団体)を作ろうとしている。それは市町村が受けるようになっているが、山として再生しようとすれば、今、特措法で出てきたのが、特定の分で10年間「みなし…」で公的なものに使えるようにしようとしている。そうしないと新幹線、リニアモーターカーが通せないの、作られている。それでは根本的な解決にならないので測量のやり方を全部一斉に変えようとするのが2020年5月からとなっており、地主がいなくてもやっってしまう法律制定に持っていこうとしている。ただ、そうすると財産権の問題が出てくることになる。
私が一番言いたいのは、その人が持っている地番は自分のものだから誰が購入されていようと何をしようが、3代前、4代前でも名前はわかるはずだし、その名前がわかれば、だいたいどういう関係	それでもって、近頃では違法伐採が多いというのも事実で、知らないうちにみんな切ってしまう、「知らなかった」で済む。その許可を出した市町村が訴えられてきているので、これではいけないということで国

だなどわかる。そのことが欲しいのに、例えばその山を伐採しようとした時、両隣へ了解を得ないといけな。先ほど何代か前と言われたが、地番があるので地権者はわかるはずである。それを知りたいと相談に行った時、「それは個人情報なので言えませんので、三次へ行ってください」となる。「三次の法務局に行けば教えてくれるのか」と尋ねると、1件につきいくらかの手数料がかかる。それなら個人情報とか言うが、そこへ行けば教えてくれるのなら同じことではないか。そこら辺についてどう思っているか。

市の東城支所で済むことが、三次の法務局まで行かないといけな。それなら周りの人に聞いてみようという話になる。

が動き出したのも事実であり、法務局に行ってお金をかけて所有者を探して山の木を伐るといことにならなくなるし、止めるようになる。

一旦、全部整理しようというのが政府の方針である。東日本大震災の時、高台移転するということになったが、移転先が誰の土地かわからない。勝手に伐採できませんから、そこで勝手に切ってもいいように特措法を今年成立させたわけだが、未だに登記所に行ったら50%がダンゴ図で、それが現実である。

個人情報の取り扱いのことも言われていると思うが、本市も個人情報の保護については完ぺきを期すようになった。今までは市民の方に情報として出していたものを一切出さない方向になってきているので、その取扱いで非常に不便だという話だと思うが、そういう実態がある。例えば、敬老会をするのに本当は名簿を出してはいけないが、限定的に出しているが、取り扱いをきちんとしなさいと地方自治体が指導を受けている。だから「三次まで行ってください」と説明するのは、そういう流れの中でやっている。

固定資産税の大型滞納があると言ったら誰でもわかる。東城の人にはすぐにわかると思う。しかし、どこなのかということ議会の中で名指して議論することはできない。金額についてはわかるが、どの法人なのか明らかにしろというのは議会の議論の中でもできなくなっているのが現状である。

**【 東城地域 八幡地区 】**

地域おこし協力隊員は、振興区にも配置できると聞いたが、メリット、デメリットは何か。

市のやり方について不評である。

木の駅で3年間働いていたが、結局やめられた。不評である理由を分析する必要がある。

<p>広大な森林面積を持つ本市だが、山林活用が出来ていない。市長は山について方向性を出していない。他市では国産材を利用した地域振興が進んでいる。地域の資源を有効活用してほしい。</p> <p>残材は津山へ運んでいる。庄原で利用できないのか。新しい産業を作してほしい。</p>	
<p>イノシシの加工施設が出来たが、どのくらいの捕獲頭数か。</p> <p>三和では食肉で出している。庄原はどうか。</p> <p>食肉に適した持ち込み方法について問題があるのではないか。</p> <p>市としてチームを編成して捕獲から食肉流通について対策すべきではないか。</p>	
<b>【 東城地域 帝釈地区 】</b>	
<p>市は林業振興対策について明確な方針がないように見える。政府はあらたな森林管理制度を発足させる。市議会の議員質問にも市長は的確に答弁していない。議会はこのような国の政策を踏まえた市の林業政策を企画するよう促すべきである。</p> <p>市は国の新たな制度を受けた取組みを森林組合等に委託するだけの姿勢を繰り返すようになるのではないかと懸念している。新たな制度は補助金獲得も、かつての制度よりもハードルが高いように見える。</p> <p>議会は市に積極的に提言して、新たな制度が容易に活用できるものとなるよう、広島県にも働きかけるよう行動することが重要ではないか。</p> <p>新たな制度を活用するために、市行政は森林組合と対策協議会を組織して対応すべきと市長に提言しているが反応がない。議会は市長が林業振興のために積極的になるよう求めるべきである。</p>	<p>ご意見を受け止め、対応したい。ご意見と同様な思いを持っている。</p>
<p>新たな制度発足により、関連予算は 600 億円にもなる。庄原市にもより配分が増えるように、関係者に伝えてほしい。</p>	

<b>(8) 観光振興施策について</b>	
<b>【 口和地域 】</b>	
<p>パンダ予算を残したのはなぜか。</p>	

中国との交流をなぜ続けるのか。 交流に係る経費は、どちらが負担しているのか。	
アルゼンチンへ行ったが、アサードの機械は かんぼの宿に飾ってあるだけだが、なぜ活用しないのか	

(9) 水道事業のあり方について	
【 庄原地域 庄原地区 】	
水道事業の解決策について、もっと詳しくお聞きしたい。	<p>人口減に伴い、給水人口が減ってくるので供給バランスが崩れるのが問題となってくる。配水管が経年劣化で痛んできているので、それを全部取り換えることは市単独では大変な経費がかかり難しい状況になってきている。</p> <p>人口増の地域では、順次配水管を大きくしたり入れ替えたりしているが、旧町の簡易水道の漏水率が高く、浄水した水を送っているなのでその辺をどうするかということになってくる。県としてはそういう地域が増えているので一括して管理していこうという政策を打ち出してきた。将来、余裕があれば庄原の水が他の市町へ送られるケースが出てくるとも予測され、どの辺でバランスを取るのかということが難しくなっている。</p>
【 庄原地域 北地区 】	
濁川地区は上下水道がない。子どもたちに帰って来いと言っても、上下水道がない地域へは帰ってこない。行政はどう考えているのか。個人負担が多すぎる。	
【 東城地域 久代地区 】	
水道料金は、負の財産が増えてきていると思うが、今後どうなるのか。	<p>給水人口が減少してきており、大きく下がるという期待は出来ない。</p> <p>安芸高田市は、かなりの値上げをする。</p> <p>水道には上水道と簡易水道があり、旧庄原市と東城町には上水道がある。その他の町は簡易水道で、行政責任で戸口まで引いてくれる。旧庄原市の例でいうと、メインの配水管は市が引っ張ってくれるが、そこから先は水道組合等を作って管理したりしている。</p> <p>水道は各市町村によって規格がバラバラだが、県でこれを統一して共同購入に持っていき、管理部門を管理委託してコストを下げていこうとして、現在の基</p>

準を何とか守ろうと県も動き始めている。一気に水道料金が上がるということにはならないと思う。

また、下水道の問題もあり、下水道をどこまで整備するのか、本市のように合併処理浄化槽でやるとか、そういうところも行政責任ですから、慎重にやっていただかなくてはいけないと思っている。そのかじ取りを庄原市も考えながらやっているし、県もそういう思いでやっている状況である。

## 6. 意見交換

報告会会場での意見交換内容	
【 庄原地域 庄原地区 】	
<p>今年5回の避難所開設があった。危機管理について開場してくれれば市の方が運営するという事になっている。その運営に関して職員2名が来られている。職員数に限りがあることは承知しているが、会館の管理者としてどの程度のことか求められているのかわからない。各自治会も抱えているし、高齢者や身体の不自由な方もおられるので、自主運営が難しいことになる。その辺の対応に苦慮しているの、議会としての意見があれば聞かせてほしい。</p> <p>公共施設あり方検討委員会に傍聴に行っているが、議員の顔を一度も見えていない。全然興味が無いのか、少し寂しい。その中で、ある委員から「市の行事をきりり(三次市)でやってもらえ」とか、とんでもない意見が出たり、市の文化活動を何と心得ているのかと感じたし、途中経過等を踏まえて是非聞いてチェックしてもらいたい。</p> <p>公共施設のあり方については平成28年から議論しており、市長等へも要望してきている。市は中長期計画を策定するから少し待つてほしいと言われてたりして、言いたいことを黙って耐えてきた。ここへ来て話が変わって新しく建てるか、大改修するか、ということになっている。議会はどうか対応しているのか。</p> <p>市民会館の議論はもとも耐震対策から始まって、椅子の入れ替え、控室の改修、2階の和室を洋室に換えるといったいろんな要望をしてきている。自治振興センター、福祉会館も統合して一緒に整備してほしいと教育委員会等に要望しているが、議会へは話は行ってないのか。</p>	<p>議会としての避難所開設にかかる具体的な考え方や方向性としてまとまった議論はない。</p> <p>ただ、今年5回避難所が開設された。議員それぞれ感じたことがあると思うが、個人的な意見として、市の指定避難場所に避難しない人も多く、派遣職員が電話の前でじっとしているケースもあり、場所によって対応が違わなければならない。地域の実情を認識した形で、それぞれの自治振興区とも連携を図り、どういう対応が良いのか、執行者と議論していく必要性を感じた。</p> <p>議員も皆さんのご意見をお聞きして一般質問等で訴えているところである。</p> <p>今回の災害は一度も総括していないので、議会としても絶対にやるべきことだと考えている。</p> <p>その委員会の構成メンバー選出の過程も承知していない。事前に我々に投げかけられればもっと時間をかけて我々のところに下ろしていただいて一緒に検討しようということになったと思う。今話されたことは事実だが、我々としてもそのことについて協力しないということではなく、良いものを作りたいという気持ちは十分にあるので、その点をご理解いただきたいと思う。</p> <p>今言われたことは当然知っている。今月ここで広島県身体障害者福祉大会も予定されており、トイレの改修も済ませた。ただ、スロープはまだ完成していない。すべてがそういうような方式でやってきた。</p> <p>議会としては絶えず言い続けてきたことだが、最終的には厳しい財源というようなところで、諦めざるを得なかったということになっている。先ほど話が出たが、合併特例債が5年延長になったので事業も多くなればいいのではないかという議論があるのも事実である。ところが、100%合併特例債で賄えるのではなくて33.4%自主財源で持ち出しをしないといけないという話になると税金が上がる。</p> <p>その辺のバランスを考えていかないと市民の負担増につながり、庄原市はいろんなモノは作ったけれど市民負担が高くなって「庄原には住めないではないか」という話になってくる。情けないのは自主財源不足となってくるので、議会としても、執行者としても協調発信しながら、市民の皆様のご意見を聞きながら何とか収まりを付けているのが現状である。</p>

小・中学校の統廃合の問題で空いた校舎等の利活用、工業団地のジュオン跡地と比婆フグの養殖の見通しについて議会ではどう思っているのか。

7月豪雨により川手地区で心配した件について実情を聞いていただき、今後の対応等に活かしてほしい。

7月6日の夜、自治振興センターへほとんどの住民が避難した。川が増水し雨も降り止まない中で市の方から庄原ダムを放流すると連絡があった。私は経験していないが、昭和47年の災害に遭われた人たちはその場で震え上がられたり、泣き出す人もいた。堤防まであと1メートルくらいまで水位が上がって増水していた状況下で、すごく心配した。増水してきている状況の中で、ダムの放水について時間的にもっと早く判断するような措置がとれなかったのか、とても腹立たしく感じたし、市の方でそういったところの改革が考えられるのではないかと、取り組みに怒りを覚えた。

青木井手の上の土砂が崩れ、観音寺裏の水路があふれて床下浸水があったり、地区の1メートルくらいの水路が土石で埋まり田畑に流入したりしている。台風24号で土砂崩れがさらに拡大したところもあるので、早く対応してほしい。

庄原ダムは市の職員から管轄が県になっていると聞いたが、市として内容を確認したり要望することは可能だと思うのでしっかり連携を取ってほしい。

未利用財産の活用についてどのように活用しているのか、執行者がどのように言っているかという点と「個別の案件で利用計画を考えている」と、例えば閉鎖した学校の利活用は教育委員会で検討している。

山林をどのように使うか、先ほど言われた様々な施設についても関係課で方針を検討している。

学校施設を一般財産にして、どのように使ってもいい財産に変えたという段階にあるということである。利用出来るものは地域で活用していただき、なかなか難しいと思うが、買っていただけるものは買っていただくような形で整理していく取り組みが進んでいるということである。

比婆フグについては、グリーンウインズさとやま(株)に地目を貸して、その自己資金で養殖事業をされている。今のところ何とか頑張っておられる。

ジュオンの跡地については東広島市の不動産会社が購入されており、市のものではない。

災害については担当職員も一生懸命査定等をしているところである。被害箇所も広範にわたり、業者の数も減ってきている。3カ年計画で緊急性の高いものから復旧工事を進めていくことになると思う。

<p>今回の避難所開設について、市から2名の派遣職員が来られたが、増員を要求すると物資の配達要員とか職員数に限りがあってどうにもならないと言われる。そういう話になってくると自治振興区の役割・活用が大変重要になってくると思う。避難所を開設した時、職員を派遣するだけでなく、どういう手順でやっていくのか。協力したいと思っている人はいるので、そういう所について議会で提言してもらって防災活動の手順を早く決めてほしい。</p>	<p>今回、市役所の非常態勢でほとんどの職員が待機している。先ほど言われるように手順が不十分だったということは事実だと思う。議会の中でそのことが議論されているかと言えばされていないのが実情である。</p> <p>今日いただいた意見を実情として、皆様のご意見を議会の中で活用し、しっかり議論していきたいと思う。</p>
<p><b>【 庄原地域 峰田地区 】</b></p>	
<p>《人口減少問題について》</p> <p>庄原市は人口減少が大きく、限界集落・消滅自治体と言われる状況だ。定住対策が無いのではない。U・ターン等都市からの移住を増やしたり、空き家活用での滞在型観光を進めるべき。</p> <p>市内の高校を卒業して、庄原に残った子は、うちの子供一人だけの状況。</p> <p>《学校の適正配置計画について》</p> <p>小学校で複式学級6人のクラスでもいじめはあった。庄原中学校では、逆にいくつかのグループが作られる中でいじめが始まっていた。統合では地元からの子供と、他地域から来た子供ということでもいじめが始まる。統合しなくても良いということであれば、統合はしない方がよい。</p> <p>適正配置計画の話は、事前に自治振興区へされなかった。自治振興区では、学校・子供の存在を基に活動がされていて、廃校となると、自治振興区の活動に支障が出る。</p> <p>《自治振興区について》</p> <p>自治振興区・自治会の運営状況について、議会はどのように考えているのか。</p> <p>自治振興区は、役員の犠牲の上に成り立っており、自治会は、高齢化で取り組みが出来ない。辞めたいと思っている。</p> <p>行政が自治会に下ろしていたものが、下ろせなくなる。土台が崩れることになるが、行政はどうするのか。</p>	<p>市は、定住対策・空き家活用・滞在型観光推進対策に、人員も予算も付けて取り組んでいる。</p> <p>議会でも効果が十分に上がっているとの実感を感じていない。今後も人口減少対策の実効が上がるよう求めていく。</p> <p>高校生では、将来は庄原で暮らしたいとの意向がかなりある。今年も、市内の4高校での議会報告会も計画しており、よく話を聞いて、子供たちの庄原市定住に繋がる施策が行われるよう議論を進めたい。</p> <p>議会は、適正配置計画の説明を受けているが、議決までの状況になっていない。</p> <p>委員会調査等を重ね慎重に対応したい。</p> <p>市の全域で、人口、担い手の縮小を実感している。振興区の在り方を議会の委員会で議論を進める。</p> <p>市政懇談会も開催されるので、意見を出して、皆で考えてほしい。</p>

【 庄原地域 敷信地区 】	
<p>昨年の要望(板橋西原地区の西原神社参道までの道の改良)の回答について、「地元地権者の方の協力が得られれば」の協力の中身は。土地の買収か、無償譲渡か。</p> <p>新聞報道によると、豪雨災害復旧事業において国の補助金査定的前提となる測量設計が追いつかず、遅れると国補助対象とならない、とあったが、庄原市はどうなのか。</p> <p>農地、農業用施設災害の被害件数が多いことはわかるが、工事着工のおおよその時期を示してもわからないと作付けの見通しが立たない。</p> <p>「庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会」でアンケートもとられ検討され、それを受けて市の方針を決めるとのことだが、市街地の公共施設の在り方と言いながら、実際は市民会館の検討だけになっている。田園文化センターなども含めた全体的な計画を検討すべきではないか。一般質問など見ても表面的な議論に終わっていると思う。</p> <p>「議会だより」を見ると、議会も賛成し実施している事業に、後から様々な批判や議論をしているが、議決した責任があるのではないか。</p> <p>指定管理者制度のように民間に委託すると、責任がなくなるのではないか。民間企業ならそれぞれ専門職がいるが、市役所職員の専門性はどうか。楽しく仕事をしてほしい。</p>	<p>執行者に確認し、返事したい。地域開発道路として、事業計画に入れるよう働きかける。</p> <p>庁内での応援体制や近隣県の市町からの職員の応援等も受け対応しており、国の補助が受けられなくなるといった状況にはないと聞いている。ただし、どうしても3年間はかかる。</p> <p>測量設計が終わり次第、早く地元で事業実施のおおよその時期を伝えるよう、皆さんの声を伝えたい。</p> <p>当面、市民会館・自治振興センターの今後の方向性の議論になっているが、引き続き財政計画と合わせて、市街地全体の検討がされものと考えている。</p> <p>例えば、議会が求めてきている光ファイバー網の有効活用が進んでいない問題や、ペレット工場のように設立当初の計画や理念と大きく違ってきているものについては、議会としてチェックしなければならないと思っている。</p> <p>指定管理しても公立には変わらないので、行政の責任はある。市職員の早期異動が目立つが、議会としては職員が働きやすく専門性も高められるような職場づくり求めていきたい。</p>
【 庄原地域 東地区 】	
<p>小・中学校の統合に関して、小・中学校は地域のシンボルではないかと思う。統合については賛否両論いろいろな考え方があると思うが、遠くに離れてバス等で通学することになれば、その地域での運動会等が出来なくなり地域との連携が取れなくなる。最終的には条例改正を経て決まると思う。そこで議員が賛成・反対の意思表示をされるようになると思うが、しっかり腹に据えて複式が悪だとか、競争がないと切磋琢磨しないというような言い方で教育委員会が進めている中で、条例改正に賛</p>	

<p>成されるのか、反対されるのか、きちっとした議論をして意思表示をしていただきたい。</p> <p>7月豪雨災害の中で、ため池について広島県も問題があったと思う。庄原市のため池の数は、聞くところによると1,800カ所である。農水省、農政局が8月末まで1,300カ所(77%)ため池の調査をされた。その中で問題のあるため池38カ所と聞いている。東自治振興区内に何カ所あるのか。問題あるため池について具体的にどういう対策をするのか。</p> <p>市町村・県・国、全国的にこういう問題は起こってくると思う。先ほどの報告にあったように耕作放棄地もどんどん増えてきているわけですから、使わないため池も増えてきていると思う。</p> <p>管理者がいない、所有者もわからない、そういう池をどうするのか？</p> <p>今はヌートリアが池の堤防に巣を作って崩しているが、これも大きな問題で、この辺についても見解をお聞きしたい。</p>	<p>執行者ではないので私見になるが、東自治振興区内のため池の状況については知らない。</p> <p>今、災害を受けて市の建設課が池の調査をしている。調査結果もかなり出ており、かなりの数が激甚災害で対応して改修するとか、そういう動きになっている。ただ、3年以内に完了させなければいけないと言われているが、3年間では厳しいのではと思っている。事業者も少ないし、そういった中でどうするのか。また、査定も来年度に跨るのではという話も出ている。少し遅れるが、進んでいる。</p> <p>補足させていただくが、結局、激甚災害になっても地元負担がある。それをどうするかという議論が必ず起こってくる。おっしゃったように誰が持ち主かわからない池というのが存在するので、これを中山間直接払い制度等々で、地元でどういう形で整理をしていくかということをしっかり議論をいただかなければならない問題だと思う。それから、どういう状況かということをお知らせするということが大切になってくるので、今後の議会として皆さんからいただいたご意見をどういうふうに対応するのか考えていきたいと思う。</p>
<p><b>【 庄原地域 北地区 】</b></p>	
<p>本地区川西集会所ではデイホームを運営している。当初予算の段階で前年比20%補助金カットと聞いていたが、実際は30%のカットだった。納得できない。</p> <p>耕作放棄地が増えている。対策は考えているのか。</p> <p>豪雨災害へ支援金を支払ったが、どこへどのように使われているかわからない。本当に困った人へ渡っているのか。</p> <p>東城地区では移動販売車を予算化したが、その検証はできているのか。</p> <p>日赤へ行って「ジェネリック」を希望したが「うちでは出せない」と言われた。国保の財源を守るためにもジェネリックを推奨すべき。</p> <p>17時以降日赤眼科へ子どもを連れていったら「時間外なので専門医がいない。三次へ行ってく</p>	

<p>れ」といわれた。そして三次の病院へ行き対応してもらった。どうしてこうなるのか。庄原へリターンして帰ってきたが、帰らなければよかったと思う。</p> <p>日赤は医者・看護師・事務方、それぞれ連携が取れていない。医者に遠慮している。</p> <p>人口減少に歯止めをかけるために、どのような努力をしているのか。本気で話し合いをすべき。</p> <p>地域から小学校がなくなるということは、本当に良いのだろうか。</p> <p>いろいろな審議会があるが機能しているのか。しっかりしてほしい。</p> <p>空き家対策についても考えてほしい。</p>	
<p>【 西城地域 西城地区 】</p>	
<p>《議会報告会について》 報告会が行われるようになり年数を重ねるが、市民と一体となって、まちづくりを進める上で、もっと回数を増やすなど充実したものにしてほしい。</p> <p>《学校の適正配置計画について》 学校の適正配置計画について、議会の議論の状況・検討内容など分かれば知らせてほしい。</p> <p>小学校の統廃合計画を見るに、議会は方針・予算について今年中に結論を出すべき。子供の教育を最重点に考え、判断してほしい。</p> <p>学校の統廃合については、いずれ統廃合は進まざるをえないと思うが、説明会などの議論を通じ決められた教育条件は確実に実行されなければならない。市民に無関心な面もある。特に受け入れる方への説明も必要。</p> <p>《高齢等運転免許返納者への対応について》 高齢・認知障害で、運転免許を返納する者が増えるが、対応案はないか。</p>	<p>今回の報告会は、報告内容を簡潔にして、意見交換に十分時間を取るようになっている。</p> <p>議会としては、教育委員会の学校適正配置計画の報告は受けたところ。議員は報告に対し、議会の一般質問等でそれぞれ議論を重ねているが、議会としての結論は出していない。</p> <p>議員個々の思い・取り組みはある。今、議会の議決事案として判断する機会まででない。</p> <p>今後の学校のあり様について全市民のコンセンサスを得よう教育委員会、関係する者の努力が必要である。</p> <p>議員も一般質問で取り上げている。返納者への支援は、免許を持たない高齢者への対応にも関係し、現時点での対応案は示されていない。 引き続き、委員会で議論をしたい。</p>

【 東城地域 東城地区 】

先日、自治振興区に自治定住課の方が来られて、空き家対策で早く情報が欲しいと、期間が経過して中を修繕して入るといことは考えにくいので、今住んでおられて空き家になるという情報が欲しいということであった。良い条件でそういう物件が動けば町も活性化できると思ったが、そういう情報を挙げていけば何かメリットがあるのかなのか。何かメリットがないといけない。例えば、ウチのおばあさんは調子が悪いから何年か後には空きそうだとかあっても、亡くなられてバタバタされて、後継者は街に出られ空き家になって管理しない。気づいた時にはボロボロになり床が抜けそうだとすれば誰も触らない。何かいい方法はないものか。町を活性化させていくためには何か手法が必要ではないのか。壊れそうな家は早く潰さないといけないと思うが、潰れかけたまま放置されている実態もあり、これも気になる。

それから登記をつけたくてもダンゴ図で何十軒からもハンコを集めないといけないので登記がつかない土地が町中にたくさんある。そういう所が整理できないものか。これは行政がやらない限り、個人が何十軒も歩くことが出来ない。

地籍調査でも出来ないからうやむやになって土地の売買と言っても線が引けない状態で、現在を迎えている所が東城の中にあることが気になっている。

本市の支所長の決裁権限はどの程度あるのか。相談すると「よし」と思ってやったことが、本庁で「つまらないことをするな」と怒られるとか、金額云々ではなく、どこまでお願いできるものなのか。

例えば、今回の災害で浸水した家のものを出していたら、ちょうど3連休になってその前日まで受

個人的に山の境界明確化事業と連動して地籍調査の方も研究しているが、都市部いわゆる街中の地籍調査は進んでおらず相当低いと思う。言われたようにダンゴ図で境界がわからない。実際わかるところでも本当の意味で正確な地図にはなっていない。余った土地を山寄に寄せてそこでなし崩しにしているため、正確な四角ではなく斜めになったような四角とかに全部なっている。特に東京都などは地価が高いので1cm単位で争うようになるが、皆それをしようとしらない。それも2020年に合わせて測量のやり方等全部やり替えて日本地理院の図面までやり替えたいというのが政府の考え方である。山もそうですが、街中の地籍調査等も加速度的に上がっていくと思う。そうしないと何か起きた時にどうすることも出来なくなる。

壁1枚で両方の家という所もあるわけだから、崩しようがない。

空き家対策で早く教えてほしいという話があったが、亡くなりそうだから早く登録することは出来ない。IターンやUターンを本市に入れたいために空き家を紹介したいというのが本音だと思う。優良物件を貸し出したいの思いだろうが、そんなに簡単にはいかないと思う。どこの自治体も試行錯誤しながらやっている。空き家バンクに登録したら、そこで管理してくれるシステムがなければ早く情報は入らない。持ち主と借主が価格折衝しようとしても仲介業者がいるのから出来ない。例えば、気持ちとしてこの人は家を丁寧に使ってくれそうだから月3万円で良いと思っても、実際の表示は4.5万円とかになる事例もある。

日南町では、自治会の人と相談して持ち家の所有者にその家の写真を撮ってもいいですかと問いかけて承諾があれば、家の外観も中も写真を撮ってホームページにアップしたりしているのが非常にわかりやすくなっている。さらに日南町では改修費用や査定費用の補助制度もあり、不動産屋さんが実際査定をしてくれて点数で言うと70点ぐらいですよという具合で結構進んでいる。ただ、すぐに出ていく方も結構おられるそうである。

ごみ処理になるので担当は環境政策課になる。そのことの調整も必要となり、一発で誰かのところに話が行って「やれっ！」となっても、あちこちへ聞いてみないといけないということになっているのが実態である。議会でもこの事は以前から問題になっている。支所で決定すれば支所で勝手に決定したという苦情が

けますよという話になり、よそから帰ってきて片づけたり応援してもらったりするので、市に対して3連休の最後の日まで延ばしてほしいと要望したが、「ダメ」という本庁の返答があったから休みの前で切るというので立腹した。支所でいちいち返答が出来ないし、あくる日になる。その家の人たちは休み前で受け入れが切れると思うから一生懸命作業をされていた。こういう時に支所長が「よし！私がかかけあうからやれ！」と判断してもらえばいいと思うが、どこまでの権限を持っているのか。

わからないこともないが、住民からするともう少し早く返答が返ってくるようにならないものか。

自治振興区の思いで、東城で育った人が帰ってくるならやろうということで、オペラ歌手、落語家など東城に関係した方を大切にしようと、それを地域の宝物にというような感じで、一つの動きを作っている。それが自治振興区の仕事だろうと考えている。そういう思いをどんどん拡げていきたい。そういうイベント的なことになると思うが、いろんな面で幅広いバックアップをしていただいて地域を盛り上げて将来に向かっていきたいと思っている。子供たちの目標になってほしいし、谷繁さんなどもおられるし、その中で明日を担う子供たちが一人でも出てくれたらと願っている。庄原には金藤さんもおられるし、それは全部夢につながっていくだろうし、そういった意味でもそのような人たちを少しでも呼べるような場面での応援等についても何か良い知恵を出してもらいたい。子供たちが力を得た状態でやるのと細々とやるのでは雰囲気も違ってくるので、子供たちが夢を、地域に宝物としての誇りが持てるようなことを考えてほしいと願っているし、ご理解いただきたいという思いを持っている。

#### 【 東城地域 八幡地区 】

地震により小学校のブロック塀が倒壊したニュースがあったが、本市での安全対策はできているのか。

市内全校に空調設備をすとなっているが、全体が完了するのはいつか。

きたり、本庁へお伺いを立てると、「何でそのくらいのこととは地元で判断すればいいじゃないか」と言われるというような声が聞こえて、それではどういうやり方が良いのということが議会でも議論になっているのは事実である。

本当に今のままの権能で良いのか、総合支所で残すのが良いのかということも含めてどちらが良いのかというのは議会の総意として結論が出ているわけではないので、現状で議会は認めているということですが、そういう議論が議会の中にあるのは事実だから、皆さんにいろんな意見を出していただくことが大切であると思っている。

一種の理想論のような事を議会としては言っているが、結構、執行者は協調発信をやっているが、必ずネックになるのが予算である。何とか教育関係の方へも予算を回してほしいと言いつけているが、教育関係の予算というのは伝統的に削られている。特に本市の場合は三次市と比較して教育関係の予算が削られると個人的には感じている。

しかし、徐々にではあるが、そういう点を指摘して図書館の充実とか、僅かずつではあるが、努力している。図書館司書も兼務されているケースもあるが、本市には10名いる。三次市には図書館司書が1～2名しかいないと思う。そういった意味では先端を少し走ったりしているところもある。

動きは遅々としているが、着実に変わってきていると思うので、期待していただきたいと思う。

<p><b>【 東城地域 田森地区 】</b></p>	
<p>《庄原市政と議会について》</p> <p>裁判で争われている、ジュオンの問題は、当初から事業の目的達成は無理と分かっていたながら、事業を行ったことが分かってきた。事業を行い補助金返還させられた市もこれを認めた議会も無責任。失敗が分かっているにもかかわらず認めない。知らんぷりで責任を取らない。「無責任のシステム化」が行政の常態となり、失敗を繰り返している。</p> <p>バイオマス問題は、執行者と議会の癒着と受け止めている。市民の側に立つと責任は免れない。</p> <p>学校統合の要望に対する回答も無い。一方的に進んでいる。学校を無くすことは、市の政策の柱・人口を減少対策とも矛盾する。</p> <p>庄原市政の核心に触れることも、議会がこれに本気で対峙する姿勢も、市民に伝わらないのは残念。</p>	<p>執行者も議会も市民代表としての責任を全うしていないとの指摘だが、国や県の指導を受けながら、対応している。裁判についても結果を待ちたい。</p> <p>学校統合問題では、子どもたちが健全な教育を受けられることが一番と思う。議会は教育委員会の説明を受けた段階である。対象地域の説明会などの推移をみながら、適切に判断したい。</p> <p>厳しいご意見を伺った。議会も切磋琢磨して市民の負託に応えたい。</p>
<p><b>【 東城地域 帝釈地区 】</b></p>	
<p>教育民生常任委員会報告の中で、現在進行中の学校統廃合計画については、教育民生常任委員会は特段の課題設定としていない、という報告があったが、問題ありと指摘したい。議会の積極的なかわりが必要ではないのか。現実には、市議会一般質問では多くの議員がとりあげているではないか。</p> <p>また、教育長発言として、「教育指導要領には、小学校での複式形式授業は想定されていない」とあったと一般質問で明らかになったが、重大な問題である。どうするのか。</p>	<p>所管常任委員会が無関心であるとの意味ではない。計画は、市教育委員会が判断し策定したものであり、この計画の是非について、議会が直接に組織見解を議論することは権限領域として控えているにすぎない。市教育委員会は、計画を確定した後に関係地域市民、保護者への説明を行い、理解を求めるという方法を採用している。</p> <p>現在、関連地域への現地説明会を教育委員会が展開している。この計画は関連地域市民、保護者の理解と同意が前提となる。</p> <p>議員はそれぞれ、地域の市民意見を尊重し、市長との議論を展開している。</p> <p>学校統廃合計画の是非については、最終確定段階で市長が議会に提出するが、関連条例を採択するかどうかで決定するものであり、担当常任委員会も総合的に関連審議は実行することになる。</p>
<p><b>【 東城地域 久代地区 】</b></p>	
<p>議会報告会の班分けはどのようにして決めているのか。</p> <p>地元議員がいるようなことには出来ないのか。</p>	<p>各常任委員会から最低1名ずつ入るようにくじ引きで決めている。</p> <p>ご意見・希望としてお聞きして持ち帰る。</p>

<p>学校の再編問題について、実際に教育委員会は地域の意見や実情を集約した上で出されるならわかるが、小規模校と複式学級は良くないからと一方的な計画のように思える。議会としてどのように対応されている段階なのか。</p> <p>2年前になると思うが、庄原市が「どぶろく特区」の認可を平成27年11月27日に受け、その説明会に興味があつて行った。設備工事の5分の4(上限80万円)を出すという話だった。しかし、その付帯条件が相当厳しいものがあり、民宿、飲食業をするという条件の下でないと作ってはいけないということもあった。庄原市の目玉商品として多くの観光客を呼びたいというような話を聞いて帰ったが、もう少し条件を緩やかにして、誰でも作れるようなことにしてほしいと思っている。2年が経過したが、進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>移動販売車について市は1トン車で計画中だが、高齢者目線でいくと車高が高すぎて品定めが出来ないし、各地のサロンを周ると聞いているが現状はどうなのか。</p>	<p>教育委員会が市民に説明しないうちに再編案を作つて、教育委員会議に諮つて賛同を得たということが進んでおり、議会に事前に説明があつたものではないので注視をしている状況である。</p> <p>議会に対して議案として出てくるのは、もし統廃合ということになれば条例改正の議案、もう一つは学校の管理費、通学手段の確保のための予算案が出てくることになる。現在は教育委員会が各地で説明会をしている段階である。議員は賛否両論があり、一般質問で議論している。</p> <p>これは庄原市が特区を取つて誰でも作つていいというものではなくて、高野町の方が第1号で自分の田んぼで採れたお米で造つて、自分のお店で販売され、頑張つておられるが、大変に苦戦されている。どぶろくを作つて町おこしで頑張ろうということだが、単位が10リットル、20リットルではないし、設備機器が大変で、その方もお金がかかつて大変だと言つておられた。ですから、もう一段の規制改革が出来れば変わってくる可能性はあるが、現段階では「どぶろく特区」で町おこしにはなりにくいと考えている。</p> <p>2回協議会を開催して、土日を休みにしたいという話も出たが、イベントや行事は土日が多いので、休むなら平日だろうとか、どの地区でいつサロンをしているのかなど、いろいろな議論をしている。</p> <p>1日に2カ所周るようにするとか話があつたが、やってみないとわからないというのが正直な話で、早ければ11月から運用したいとのことだが、これから入札をして業者が決まり、トラックは基本的には注文生産になるので、年内の運用は難しいのではないかという状況である。</p>
<p><b>【 口和地域 】</b></p>	
<p>「働く場所がない」と求職側は言い、一方で「人手が足りない」と会社は言つて、矛盾している</p> <p>仙台へ視察に行つているが(企画建設)視察の効果はあつたのか。</p> <p>市長はあちこちに行つているが、何の効果があつたのか。</p> <p>人口減少を見越して予算編成をしているのか。</p>	

<p>人口の最終目標を何人に設定しているのか。</p> <p>口和町湯木から三次へ通じる県道の改良について、議員の努力で改良するといった。現地調査をすべき。庄原いちばんにならないのではないのか。</p>	
<p>【 比和地域 】</p>	
<p>比和火葬場の廃止は、住民の意見を十分集約して決めたものなのか。</p> <p>合併基本計画(新市建設計画)に上がっていた比和加工所は、市の実施計画に載っているのか。合併市町の地域格差を感じる。</p> <p>財政状況は、三次市と比較してどうか。</p>	<p>検討委員会を開催し、関係者の意見は聞いている。比和地域でどのような取り組みがあったかは、よくわからない。</p> <p>支所を通して調べて、内容を後日に応える。</p> <p>三次市は多くの建設事業を行っているが、有利な起債の活用や起債残を増やさない計画的な財政運営で、実質公債費比率は庄原市の半分程度。</p>
<p>【 総領地域 】</p>	
<p>学校の再編について、どうなっているのか。</p> <p>庄原市が行政課題の中で人口減少問題が最重要課題として取り組んでいることに対して、議会での調査、意見交換はどのように進めておられるのか。</p> <p>人口推計で、1985年と比較して2045年に人口が半減する自治体の中に庄原市も入っている。人口が年間600～700人減少している状況下で市内の隅々まで行政の手が差し伸べられるのか。</p>	<p>教育委員会が再編計画(案)を作り、教育会議で決定となり、議会にも報告はあった。現在、川北小学校、八幡小学校などの保護者への説明会があったと聞いている。今後はそれぞれの地域、統合先の保護者という手順で進んでいくことになっているが、議会としては見守ることしかできないので、注視していきたいと考えている。</p> <p>社協と人口減少問題はなかなかこれといった妙案はないが、残った人材でどうしていったらいいのか意見交換会をしている。</p> <p>各常任委員会に共通する問題で、住みよい街づくりになっているかどうか。例えば補助金運営問題、第2期の持続可能な財政運営プランを出しているが、今後補助金の見直し、手数料の負担を増やしていこうという時に適正な形で行われるか、市民合意が得られるかが非常に重要なポイントだと考えている。そのためには皆さんの声を十分に頂きながら、財政運営に生かしていくことが大切だと思っている。</p> <p>人生100年時代を迎え、地域包括ケアシステムがうまく機能していけば人口減に歯止めがかかるのではないのか。</p> <p>客観論だが、交付税は人口が減ると減額される。合併特例の算定替えが最終段階を迎えている。およそ影響額は20億円とみている。当然それに合った支</p>

光通信網が総領町は整備されたが、先に整備された他地域の状況について

持続可能な財政運営プランと言われたりしているが、庄原市の今置かれている財政状況、全国、県内レベルでどのくらいの位置にいるのか。

出しか出来なくなるのは事実で、議員としては苦しい議論になってくる。そこに踏み込んで議論しなければならない時代が来ると思う。政府が財政的な締め付けをして政策誘導を迫ってきているので、依存財源に頼らなければいけない庄原市ではそういう方向に不本意ながらも進んでいくことになるのではないかと。

いろいろな考え方があると思うが、庄原市の最大の財産は山だと思う。これをどうやって活用しようかということの研究し、先進事例で群馬県の上野村に視察に行ったりしている。平成32年の5月から山林の境界明確化事業が全く新しい方式に変わってくる。その時には総領町も脚光を浴びてほしいと考えている。

地域的に格差が大きい。光ファイバーを引かない世帯が結構ある。特に街中の設置率が低いというのが特徴である。それから自治振興区や地域ぐるみで取り組みを進めていただいている所は加入率が高いということである。

もう一つは地域ごとの情報共有が出来るシステムだから、ペイジング放送を使えばローカルな利活用もできる。市内で2,000ぐらいは出来るのに10分の1の取得もないので自治会単位でペイジング放送を取っていただいて地域振興のために活用していただきたいというのが議会の思いである。

県内で悪い方から2番目か3番目で、全国的にもワースト100位以内を推移している。非常に財政運営状況は悪い。

庄原市の税収と借金を返す金額があるが、返すお金の方が多いという状況である。せめて財政運営をしていくのに税収と同じぐらいの借金の返済金額まで圧縮していかないと財政運営は厳しいということである。これから可燃ごみ処理施設建設を57億4千万円でやり替える予定もあり、交付税の減額と大型建設事業を実施するということが相まって、財政状況は近年厳しい状況にある。長い目で見ながら解決をしていかなければならないと思っている。

持続可能な運営プランは昨年11月に出させていたいただいたが、8年間の計画である。

安倍総理がアベノミクスと言っているが、経済でけん引して税収を上げていくということにされている。独自財源のない庄原市ではそういったことが全くできない。国も緩やかな連携を言い出したので、三次市、安芸高田市くらいまでの範囲で重複した施設を作らないようなことになっていくのではないかとと思われる。

## 7. 議会へ対する質疑・意見・要望

<b>【 庄原地域 北地区 】</b>
議会はもっと予算チェックすべき。 議会報告会に地元議員を出席させてほしい。
<b>【 東城地域 東城地区 】</b>
参加者が少なくて失礼だが、もう少し順序良く、もう少し早めに言っていただかないと対応できない。会場の使用申請書も今日提出されたようだが、会場予約だけではあるのか、ないのか、わからない。使用申請書が出ていれば声かけられるが、予定だけでは前に進まないのので忠告として聞いてほしい。
<b>【 東城地域 田森地区 】</b>
議会基本条例に則って、信頼される庄原市政実現に努めてほしい。
<b>【 東城地域 帝釈地区 】</b>
市議会は人口減対策について取り組んでいないように見える。議会がこの課題を重点課題としないことは不思議である。すでに、民間の庄原商工会議所もこの課題については、市内自治振興区役員、企業経営者、学識経験者含め、行政とも対応している。議会にはこのような対策が見受けられない。 今日まで、この人口問題対策会議は10回を超えて議論し、市行政に提言してきた。しかし、行政の対応が十分でなく、提言を尊重しない傾向があるとの判断もある。市に提言しても、「ポイントを絞って提言されたい」などと言って、本気で対応しているようではない。 定住対策もあまり進展がないのではないかと。議会も対応してほしい。
<b>【 東城地域 久代地区 】</b>
地域包括ケアシステムの構築については完成していないものを自治振興区へ無理やり投げられているような感じを持っている。なかなか体制が取れないので訪問医療、訪問介護の体制を作ってもらってから自治振興区に投げかけをしてほしい。この件については議会ですっかり議論してもらいたい。 運転免許返納者への支援、対応についても、自治体で支援をしているところが結構多いので、執行者に強く要望していただきたい。
<b>【 口和地域 】</b>
予算決算常任委員会の様子をユーチューブで流してほしい。 学校の適正化配置の計画が出ているが、廃校になる校舎の活用についても、並行して考えなくてはいけない。
<b>【 総領地域 】</b>
総合政策じゃないと出来ないものが比較的多い。今回の人口問題について各自治振興区ごとに市の説明会があった。一方で、民間の知恵を拝借したいということで商工会議所に人口問題を委託され、民間の皆さんも一生懸命論議をされている。だが、市民の代表は議会の皆さんなので、議会の中に、この問題に対する組織がないといけないのではないかと。議会と行政は決して対立の関係ではなくてチェックの関係だから、チェックは予算や決算ですっかり議論していただいて、こういう総合的な問題について取り組む時には、行政と議会は両輪でないといけないし、議会の中にこういう検討の組織がないというのは議会軽視ではないかと思う。議会の皆さんも、この問題は庄原市が総力を挙げて取り組まないと出来ない問題なので、市民を代表しておられる議会の皆さんも、この問題を論議して行政と対等となって取り組んでいただきたい。 市民目線で言うと、行政と議会が対立しているように映る。行政と議会が真摯に向き合ってしっかり論議しながら、これから庄原市がちゃんとやっていくためにはどうすればいいかというところを一緒にしてほしい。

## 8. 執行者へ対する質疑・意見・要望

<b>【 庄原地域 高地区 】</b>
土地改良区の合併について、合併協議会でも議題にあがっていたのに合併は進んでいない。旧庄原市の者だけが、10アールあたり400円の経常賦課金を納めている。今後どうするのか教えてほしい。
農業分野で補助金の額の切り下げが大きいと思う。農業振興にならないのではないかと。
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>
備北丘陵公園の北入口エリアの、入場料が無料のところへ入りたかったが、入口が分からず入場料を支払ってしまった。取り組みをするなら、分かりやすい表示が必要。
<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>
自治振興区で取り組んでいるデイホーム活動の基本助成を、来年から元の交付基準に戻してほしい。
市道の草刈りを早くして欲しい。通行の妨げになっているが、業者の作業予定が遅くなっている。
<b>【 庄原地域 敷信地区 】</b>
板橋西原の道路改良の件について、進捗はどうなっているのか。
農地、農業用施設災害の工事のおおよその計画を地元で、なるべく早く示して欲しい。
<b>【 庄原地域 北地区 】</b>
市政懇談会では、自由な意見交換をさせてほしい。
<b>【 西城地域 西城地区 】</b>
庄原市の84%は森林が占めている。単に木材の販売を念頭の振興策に止まらず、農業や定住対策と連携すること。小規模バイオマス発電所(売電・発電熱の農業利用目的とする)を市域各地に設置し、森林資源を計画的に活用した本市の地域づくりを要望する。
昨年の防災士養成や子どものプール活用の要望回答での支所対応は、十分な対応といえない。市民への細やかな対応を願う。プール要望は、こどものバス利用への助成はできないかを再度要望する。
八鳥地区では、地区総出で山林境界の確認を進めている。何らかの助成対応策を願う。
<b>【 東城地域 田森地区 】</b>
デイホーム事業は、庄原市の強い要請により、地域も犠牲を払いながら取り組んでいる。補助金を元に戻して欲しい。
市民タクシーの運行について、2人以上で乗車することが難しくなっている。制度の改善によって、使い易くしてほしい。
自治振興区の頑張りがないと、地域の生活は停滞してしまう。今後の活動に指針を示して欲しい。
市職員の親切な市民対応をして欲しい。(災害での道路倒木の処理を相談したが、「県へ言え」と不親切な対応をされた。)
<b>【 東城地域 久代地区 】</b>
久代中央線の改良について、工事の際のう回路も危ない。特に冬期が凍結するのでいろいろ検討してもらいたい。
<b>【 東城地域 帝釈地区 】</b>
帝釈小学校跡地、特にグラウンドの活用について、地域の要望を市に求めているが市の対応は鈍い。民間企業に施設管理使用を一任して、旧学校グラウンドを地域住民が活用することを規制するのではないかと。
旧帝釈小学校のグラウンドを地域住民が使用できるように求めたい。
帝釈自治振興センターから県道に出る地形は、この場所を通過する車両が視認できない場合が多発して、このことを主因とする交通事故が多発している。市は既設のカーブミラーに頼ることなく、近づく車両を早期に周辺に警告周知する「警報機」を設置することを検討すべきである。
本年7月豪雨の際、ベッド生活を余儀なくされている高齢者が避難できなかった。避難所に受け入れ用のベッドが配置されていなかったためである。避難所には毛布の数量も不足した。対応を求めたい。
市からの避難に関する情報が、市民に十分に伝達されていないのではないかと。重要な課題として対応されたい。福山市などは、詳細に市民に情報周知を繰り返している。参考にすべきである。

【 口和地域 】

市政懇談会は、課題を設定せず自由討論できる場にしてほしい。

定住促進を図るとしているが、移住者に対して手続きが複雑である(市役所内の何課も関係する)。  
窓口を一本化してほしい。

## 9. 議会報告会の検証結果

### (1) 開催時期等について

#### 【実施状況】

#### (1) 一般会場

- ① 7月3日～10月31日（6月定例会終了後）
- ② 年1回
- ③ 原則 平日の19:00～21:00

#### 検証結果

- ① 6月定例会終了後の時期
- ② 回数・時間帯は、現行どおりとする。

### (2) 開催会場の設定数について

#### 【実施状況】

21会場（庄原8・西城2・東城7・口和1・高野1・比和1・総領1）

#### 検証結果

現行どおりとする。

### (3) 報告内容等について

#### 【実施状況】

#### (1) 常任委員会の報告

- ① 平成30年度予算について
- ② 平和行政について
- ③ 保育事業について
- ④ 地域包括ケアシステムについて
- ⑤ JR・バス利用による公共交通網の現状と課題について
- ⑥ 農業振興施策について
- ⑦ 林業振興施策について
- ⑧ 観光振興施策について
- ⑨ 水道事業のあり方について

#### (2) 意見交換

#### 検証結果

- ① 報告内容の柱は、常任委員会報告・意見交換とする。
- ② テーマや報告内容は、次期開催協議時に検討する。

(4) 班編成について

【実施状況】

3名又は4名で構成し、5班編成（常任委員会単位）

検証結果

現行どおりとする。

(5) 記録について

【実施状況】

班員（記録者）による要点記録

検証結果

現行どおりとする。

(6) 時間割について

【実施状況】

時間配分は、報告、質疑で1時間、意見交換で1時間を目途とする。

- ・開会あいさつ
- ・議会報告・質疑・意見交換
  - (1) 議会活動報告
  - (2) 質疑応答
  - (3) 意見交換（意見を求めるテーマを設定）
- ・閉会あいさつ

検証結果

現行どおりとする。

(7) 配布資料・パワーポイントについて

【実施状況】

(1) 一般会場（パワーポイント資料は、共通様式で作成する。）

①資料を配付

②資料を投影

検証結果

現行どおりとする。

(8) 周知方法について

【実施状況】

- (1) 行政文書（全世帯へ配布）
- (2) 住民告知放送・防災行政無線放送
- (3) 議員が積極的に参加を働きかけ、広報車での周知は行わない。

検証結果

現行どおりとする。

(9) 報告会全体の運営・その他

【気象警報発令時の対応】

開催当日の午後5時に警報が発令されている場合、報告会は延期とする。  
日程調整の際、あらかじめ警報発令時の対応を自治振興区、会場施設側と確認しておく。  
(代替日程・延期周知の方法・準備物・担当者等)

その他 今後の課題

議会報告会で出された要望を議会全体で捉えて、声に出して一般質問でやれる形に変えていければ、より深い報告会になるのではないかと。今後の課題として検討してもらいたい。  
執行者と議会ということもあり、しっかり応えていく議会の姿勢もできるのではないかと。このことを今後の課題とする。